

多摩区

多摩区の中心登戸のまちで、長年、土地区画整理事業が進められています。どんなまちになるのか楽しみです。まちが新しく生まれ変わるときに、住民はどのようにまちづくりに参加しているのか、取り組みを紹介します。

登戸をみんなで楽しいまちにしよう！

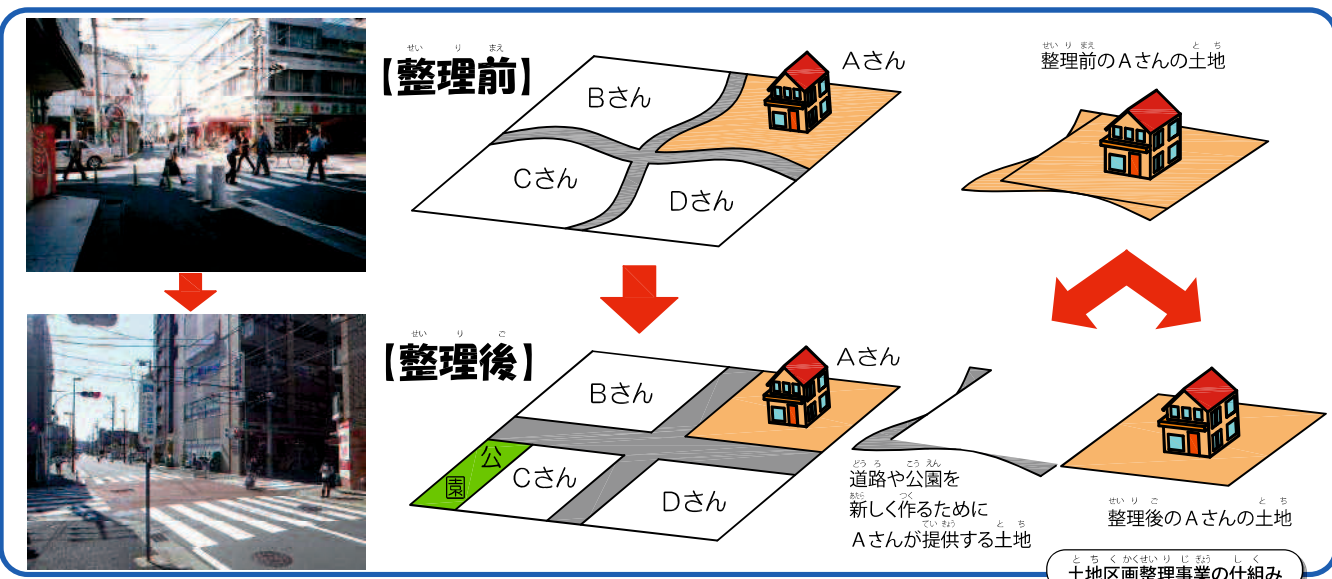
新しく生まれ変わるまち ～土地区画整理事業～

多摩区の登戸駅と向ヶ丘遊園駅の周辺の地域は、昔の津久井街道沿いにできたまちで、区役所や図書館などもある多摩区の中心地区です。でも、古くからのまちなので、道は細く下水道なども整備されていませんでした。そこで、1988年(昭和63年)に川崎市は、土地区画整理事業でまちづくりをすることに決定しました。

●土地区画整理事業ってなあに？

土地区画整理事業では、道路や公園にするために、みんなが自分の土地を出し合って、広くてまっすぐな道や大きい公園をつくります。自分の土地も、形が良くて使いやすい土地になりますね。

昔から住んでいる家を引っ越したりするのは大変けど、みんなが一緒にやらないとまちは良くなりません。現在は工事中でも、将来はきっときれいなすばらしいまちに生まれ変わるでしょう。



●みんなでまちのことを考えてるよ

せつかく新しくなるまちだから、きれいで住みよい、楽しいまちにしたいですね。登戸では、地元の住民の人たちが中心となって知恵を出し合い、新しいまちをどのようにしていくかを考えています。例えば、登戸の歴史を伝える工夫をしたり、緑などの自然を活かしたまちにしたり…。また、建物の色合いのルールなどを決めて、きれいなまちの景色をつくりだす工夫も相談しています。

かつての登戸の商店街は、地域コミュニティの中心でした。しかし、区画整理にはたくさんの時間がかかることや、店主の高齢化、後継ぎが見つからないことなどが課題になっています。区画整理が完了してまちの様子が変わったとき、個性を大切にしたい特徴ある登戸のまちになっているといいですね。新しいまちを魅力的にするには、どんなことができるかな？みんなで話し合ってみましょう。

まちはみんなの活動場所

～五反田自治会～

生田駅近くの五反田川沿いでは、5月にはたくさんのこいのぼりが飾られ、7月には七夕まつりが開かれるなど、五反田自治会の活動が行われ、多くの人々にぎわっています。この活動は、3本の木を切ることから始まりました。

●なにがあったの？

小学生の通学路にもなっている五反田川沿いのみに、伸び放題で街灯まで覆っている3本の木がありました。

五反田自治会の人たちは、「地域は子どもの庭であり活動場所。子どもたちが安全に気持ちよく通学できるみちにしよう。」と、みんなで協力して木を切り、花壇をつくることにしました。

四季折々の花を植えると、通る人たちが花壇を見ながら歩くようになりました。そこで、「花と一緒にまちの歴史や出来事を見て、知ってもらおう」と、花壇に掲示板を立てると、立ち止まって見る人が増えてきました。そこで今度は、話をしながら休憩できるベンチをつくりました。さらに、こうして声をかけあう輪が広がり、次々に新しい活動が生まれました。



自治会に寄付されたこいのぼりをみんなで飾ります



子どもたちの絵を飾ったら、落書きがなくなった！

一方、落書きが絶えずこわい雰囲気になっていた五反田川沿いの生田大橋の下のトンネル。大学生と三田こども文化センター、五反田自治会、川崎市が協力して落書きを消し、子どもたちが「わたしたちが見た・思う生田のまち」の絵を描いて飾ったところ、落書きはぱったりなくなりました。大人だけでなく、子どもたちも地域でできることがあるのですね。

五反田川を中心に、地域の人たちがそれぞれの得意なことを出し合いながら、いろいろな活動が広がっています。みなさんの地域では何ができるかな？

トピックス6 みんなの桜を守ろう！ ～二ヶ領用水宿河原堀を愛する会～

宿河原駅近くには、両わきに見事な桜並木が続く、二ヶ領用水宿河原堀があり、桜の名所として親しまれています。しかし、年老いていく桜並木や勝手に捨てられるごみなどの悩みもありました。地域の大切な財産であるこの堀を守り伝えるため、町内会、PTAなど、住民のみなさんが集まって、「二ヶ領用水宿河原堀を愛する会」をつくり、まちづくりを行っています。

★どんな活動をしているの？

部会をつくって、それぞれのグループで活動しています。

- ①環境部会…二ヶ領用水周辺の清掃や、地区内の花だんに花を植えています。
- ②ガイドマップ部会…二ヶ領用水や宿河原の自然、歴史、建物などの魅力を紹介するガイドマップを作っています。
- ③イベント部会…まちを盛り上げるために祭りや盆踊りなどの企画、運営をしています。
- ④広報部会…活動内容をみんなに広く知らせるために「愛する会たより」をつくっています。

★美しい風景を保全するためには、どんな建物がいいのかな？

二ヶ領用水宿河原堀を愛する会は、2010年(平成22年)に「二ヶ領用水宿河原堀まちづくり協議会」をつくって、美しい桜並木の風景を守っていくための建物のルールについて話し合いをはじめました。地域の人たちの意見を聞きながら、2012年(平成24年)に、「二ヶ領用水沿いの建物には、真っ赤のような派手な色は使わない」などのルールを決めました。



みんなのまちを守るために、みんなで活動することが大切なんだね！



まちづくり事例だよ！